

# ゼロからの吟詠剣詩舞 花開く



前舞する東京合同チーム＝4日、江戸川区

## 六本木高生ら合同チーム

生涯の顧問も知りないうちからのスタートだった。第48回全国高校総合文化祭の「吟詠剣詩舞」部に、都立六本木高校が中心の合同チームが出場した。大会前のある出来事を通りかかれば、心を二つに稲古に打ち込み、大舞台で輝やかな演舞を披露した。

### とうりやうとうりやう 2022

「言えいけんしんげや  
つてみないや」。2年前の  
必る日、当時同校一年だった  
風原順之助は、先  
生から声をかけられた。  
「初めて聞く言葉で、イメ  
ジが全くわかんかった」  
吟詠剣詩舞は時に節をう  
けて明々と歌う「吟詠」  
と、吟詠に合わせて刀や扇  
を用いて舞う「剣詩舞」を  
組み合わせたもの。

「言えいけんしんげや  
つてみないや」。2年前の  
必る日、当時同校一年だった  
風原順之助は、先  
生から声をかけられた。  
「初めて聞く言葉で、イメ  
ジが全くわかんかった」  
吟詠剣詩舞は時に節をう  
けて明々と歌う「吟詠」  
と、吟詠に合わせて刀や扇  
を用いて舞う「剣詩舞」を  
組み合わせたもの。

顧問の佐藤太さん(46)も打  
筋が専門の音楽教師のた  
め、吟詠や舞は専門家から  
指導を受けた。  
練習は週一で約1時間。  
始めてみると、生徒たちは  
すぐにのめりこんだ。風原  
さんは「二つ二つの所作が  
できるよ」になるのが嬉し  
かった。  
**同年代から刺激**  
初舞合はむすか数カ月で  
踊った昨年度の方が、ま  
文。振りや動きを覚えるのが精  
しいの状態で踊ったが、  
全国には幼少期から始めた  
生徒もいる。3年の小野寺  
勇太さん(17)は「同じ高校  
生なのにレベルが全然違  
う」と衝撃を受けた。  
雰囲気が変わったのはそ  
れからだ。練習中も互いに  
声をかけ、教え合った。風  
原さんは言う。「演技は1  
人でもものではないと、み  
んなで協力しないといいも  
のができないと感じるよう  
になった」。自主的に教室  
に通ったり、自宅で練習し  
たりする部員も出てきた。  
練習を見守ってきた都教  
育庁前担当の上田明海さ  
んは、「以前は練習を休み  
がちな生徒が多かったが、  
わかちあひ文後は、ミスな  
すま、他は練習する子も  
出てきた」と話す。  
本誌記者(左)と、風原さん

顧問の佐藤太さん(46)も打  
筋が専門の音楽教師のた  
め、吟詠や舞は専門家から  
指導を受けた。  
練習は週一で約1時間。  
始めてみると、生徒たちは  
すぐにのめりこんだ。風原  
さんは「二つ二つの所作が  
できるよ」になるのが嬉し  
かった。  
**同年代から刺激**  
初舞合はむすか数カ月で  
踊った昨年度の方が、ま  
文。振りや動きを覚えるのが精  
しいの状態で踊ったが、  
全国には幼少期から始めた  
生徒もいる。3年の小野寺  
勇太さん(17)は「同じ高校  
生なのにレベルが全然違  
う」と衝撃を受けた。  
雰囲気が変わったのはそ  
れからだ。練習中も互いに  
声をかけ、教え合った。風  
原さんは言う。「演技は1  
人でもものではないと、み  
んなで協力しないといいも  
のができないと感じるよう  
になった」。自主的に教室  
に通ったり、自宅で練習し  
たりする部員も出てきた。  
練習を見守ってきた都教  
育庁前担当の上田明海さ  
んは、「以前は練習を休み  
がちな生徒が多かったが、  
わかちあひ文後は、ミスな  
すま、他は練習する子も  
出てきた」と話す。  
本誌記者(左)と、風原さん

は「力の差があるのに同じ  
舞合に立つてほしいのか  
な」と悩むこともあった。  
だが「大舞合に向け、努力  
したことは間違いない。自  
分たちの演技を精いっぱい  
すれば、見ている人の心を  
動かせるはず」と信じた。  
10日前になって、六本木  
高校の9人と都立5校の6  
人で合同チームを結成。他  
校には坊いころから練習に  
通う生徒もいて、最後の練  
習に励んだ。

### たいしたもんだ

メンバーが吟じる時に合  
わせ、両手の扇子を上下さ  
せて「神懸」が波打つ様子  
を表現したり、扇子を掲げ  
て花が開く情景を表した  
り、華麗な舞いを披露し  
た。約15分の発表を終える  
と、会場から大きな拍手が  
湧き上がった。  
舞を担当した小野寺さん  
は「みんなの息が合って今  
まで一番の演技だった。  
みんなで二つ三つものを作り  
上げる楽しさを感じた」と  
話した。顧問の佐藤さんは  
「ほかの学校にひけをとら  
ない演技だった。たいした  
もんだ」とねぎらった。

は「力の差があるのに同じ  
舞合に立つてほしいのか  
な」と悩むこともあった。  
だが「大舞合に向け、努力  
したことは間違いない。自  
分たちの演技を精いっぱい  
すれば、見ている人の心を  
動かせるはず」と信じた。  
10日前になって、六本木  
高校の9人と都立5校の6  
人で合同チームを結成。他  
校には坊いころから練習に  
通う生徒もいて、最後の練  
習に励んだ。